

電友会四国連合会報

第 53 号

61. 1



目 次

年頭にあたって.....	NTT四国総支社長.....二
年頭のごあいさつ.....	電友会四国連合会長.....二
NTT情報.....	三
四国総支社組織編成替え.....	三
キャプテンサービスを松山地域で開始.....	三
宇和ー宇和島間光ファイバケーブル工事完成.....	五
四国INSプラザ装いを一新.....	五
愛媛電友会総会.....	五
扶養控除等申告書.....	五
共済会だより.....	六
年金情報.....	六
電信電話記念日表彰.....	六
新刊「電信電話と共に」表彰さる.....	七
社会福祉活動で表彰.....	七
二宮正己氏に県スポーツ功労賞.....	七
OBサークル便り.....	七
計 報.....	七
表紙のことば.....	七
随 筆.....	八
大西瓶子 高市沖見 森山泰巖 渡部貞好.....	九
編集後記.....	九

年頭にあたって

N T T 四国総支社長

貝 淵 俊 二



電友会の皆さま、
あけましておめで
とうございます。
皆さまがたは、
ますますご壮健で
佳い新春をお迎え
のこととお慶び申
し上げます。

新年早々、本紙上でのごあいさつとなりま
したが、昨年十一月二十九日付をもって四国
総支社長を拝命しました。

電友会の皆さまには、平素いろいろの機会
を通じて格別のご協力、ご支援を賜わり、心
から感謝申し上げます。

昨年は新生N T Tが発足し、電気通信の分
野に競争原理が導入された歴史的な年であり
ました。

本年は、N T T全体が支社や電話局等も含
め、まさにオールN T Tとして事業部制に移
行する年であるとともに、第一種事業分野に
おいても新たな参入が開始される、いわばN
T Tの真価が問われる年であります。

さて、私が四国にまいりまして先ず感じた
ことは、地域の皆さまの「四国の可能性」に
対する期待感でありました。それは、とりも
なおさず、情報通信の高度化に対する意欲で
あり、このことは、テレトピア構想、ニュー

メディアコミュニティ構想への積極的な取組
みや、相次ぐニューメディア関係の博覧会の
開催等に現われており、それだけ我がN T T
四国に対する期待も大きなものがあるものと
考えます。

これも、ひとえに電友会の諸先輩が、永年
に亘って築いてこられたN T Tへの信頼感が
礎となっているものと思えます。

電気通信事業は、これから二一世紀にかけ
て、N T Tを含め多くの企業がお互い知恵を
出し合いながら発展する明るい将来性を秘め
ており、N T Tはその推進的役割を果たして
いくことができるものと確信しております。

我がN T T四国も、「地域の企業、お客さ
まに対して何をなすべきか」を行動の原点と
し、地域に根ざした企業をめざしてまいりた
いと考えております。

企業環境は、収入の伸び率、投資効率の面
で状況は厳しいうえに、競争企業も出現して
います。ダイヤル通話料を増加させるための
「テレホンマーケティング」の展開、通信機
器の販売強化による売切り収入の確保・確大
パイの拡大をめざした新規事業の開拓に取り
組むとともに、経費の効率的使用や投資の効
率化に一元となって取り組み、文字どおり「
四国のトップ企業」を目指してまいります。

電気通信事業を愛され、深い関心とご理解
をいただいている皆さまは、我々の先輩であ
り、かつまた地域社会において厚い信望を得
ておられるかたがたであります。今後とも地
域社会と我が社の接点として、ご支援願うと
ともに、旧年にもましてご指導、ご鞭撻を賜
わりますようお願い申し上げます。

おわりに、皆さま方のますますのご健康と
ご多幸並びに電友会のご繁栄を心からお祈り
申し上げます。年頭にあたってのごあいさつとい
たします。

年頭のごあいさつ

電友会四国連合会

会長 泉 節太郎



電友会員の皆さま
ん、明けましてお
めでとうございま
す。

昨年の秋から暮
にかけて、寒暖恒
なき日が続きまし
たが、お元気で新年をお迎えになられました
か。

さて、かねてからいろいろ取り沙汰されて
おりました電電事業も、昨年四月いよいよ民
営化され、名も「日本電信電話株式会社（略
称N T T）」として発足したことは、ご承知
のとおりであります。つまり、過去百年以上
にわたるこの事業は、ここに独占の衣を脱ぎ
捨てて、他の民間企業との競争の渦中に突入
したのであります。

そしてこの競争体制に応じ得るようにと、
N T Tは今、事業部制へと組織替を急ぐとと
もに、その改変せられた組織の中へ、活力あ
る人の配置をと、今大童になっております。
が、企業規模が大きいだけに、これが完了
するまでには、かなりの時間がかかるのでは

ないかと思われず。

しかし、その間においても、絶えず競争は行われております。この準備のために、競争におくれをとすることは許されません。そこにNTTの悩みがあると思われず。

ところで、過去において、電電事業のなかに身をおいたわれわれOBにとっては、NTTは、いわばわれわれの実家であり、心のふるさとでもあるのです。その実家が今、新しい発足のために生みの悩みを続けているのであります。そこで若しNTTからわれわれに對し、何等かの要請があれば、健康で余力のある人は、喜んで応分の協力をしてもらいたいものだと思います。

次に、年金について申し上げますが、政府は昨年国民年金と厚生年金の統合をはかることにしたばかりでなく、昭和七〇年には、あらゆる公的年金を統合し、それまでの各種年金間の不均衡の是正をはかると言っております。

ところで、電電OBの中には、昨年電電、国鉄等四共済年金の統合が行われた際、他の三共済の年金額については、国家公務員並に再裁定が行われました。が、その結果、再裁定額を超えた年金額をもらってきている者に對しては、自分の間据え置き、という措置が採られて来ております。ところで、その据え置き措置の該当者は、電電OBの約八〇％に達していると言われております。そしてこれらの人びとは、国家公務員より有利な年金をもらっているわけでありますから、これが将来各種年金間の不均衡を正に当面した場合どうなるか。気にかかるところであります。

欧州においても、従来の福祉制度の見直しを主張せられている今日、われわれOBの将来の生きる道は、病氣にかからないで、心身ともに健康で、与えられた条件内で心豊かに生きて行く工夫が大切ではないかと思われず。

NTT情報

NTT四国総支社の組織を編成替え…一二月二日から移行

NTTでは、新たな競争体制下において、創意工夫を発揮して機動的弾力的に事業経営を行い、お客さまサービスの向上や収支改善など、経営全般の改善を図ることを目的として事業部制を導入し、十二月二日から組織の編成替えを行いました。

今回の組織改革は、電気通信サービスの高度化、多様化、競争原理の導入、並びに新規参入者との公正な競争など、今日の事業を取り巻く経営環境が大きく変わってきていることに対応したものです。

四国における組織としては、地域事業本部、いわゆる総支社と、社内第一種業者としての四国ネットワーク支社、高度通信事業本部の専用回線事業部四国支店、移動体事業部四国支店、画像・電信事業部四国支店の三つの支店と、そして四国データ通信事業部を設置しました。

事業部制の導入に伴って、総支社は主として事業全体の長期的、総合的戦略の展開等を図っていくこととなります。

なお、地域事業本部としての四国総支社の

組織は「別紙」のとおりで、それぞれの部門が責任組織としての機能を發揮して業務運営ができるよう配慮しております。

キャプテンサービスを

松山地域で開始…六一年三月に

NTTでは、五九年一月から東京および京阪神地域でサービスを開始したキャプテンサービスについて、その後逐次全国にサービス提供地域を拡大してきましたが、このほど六一年三月に四国で初めて松山地域（松山市、伊予市、北条市）にも、サービスを拡大することとなりました。

キャプテンシステムは、家庭やオフィスの電話とテレビを利用し、お客さまのリクエストに答えてセンタから送られた情報をテレビ画面に映し出すという双方向メディアです。キャプテンシステムを利用するためには、テレビにキャプテン専用端末機を取付ける必要があり、NTTでは自社ブランドで約八万円程度の安い端末機を発売しましたので、松山地方生活経済圏におけるテレピア構想の中核に位置づけられているキャプテンが大いに普及するものと期待しています。

- 1、サービス提供地域
松山市、伊予市、北条市

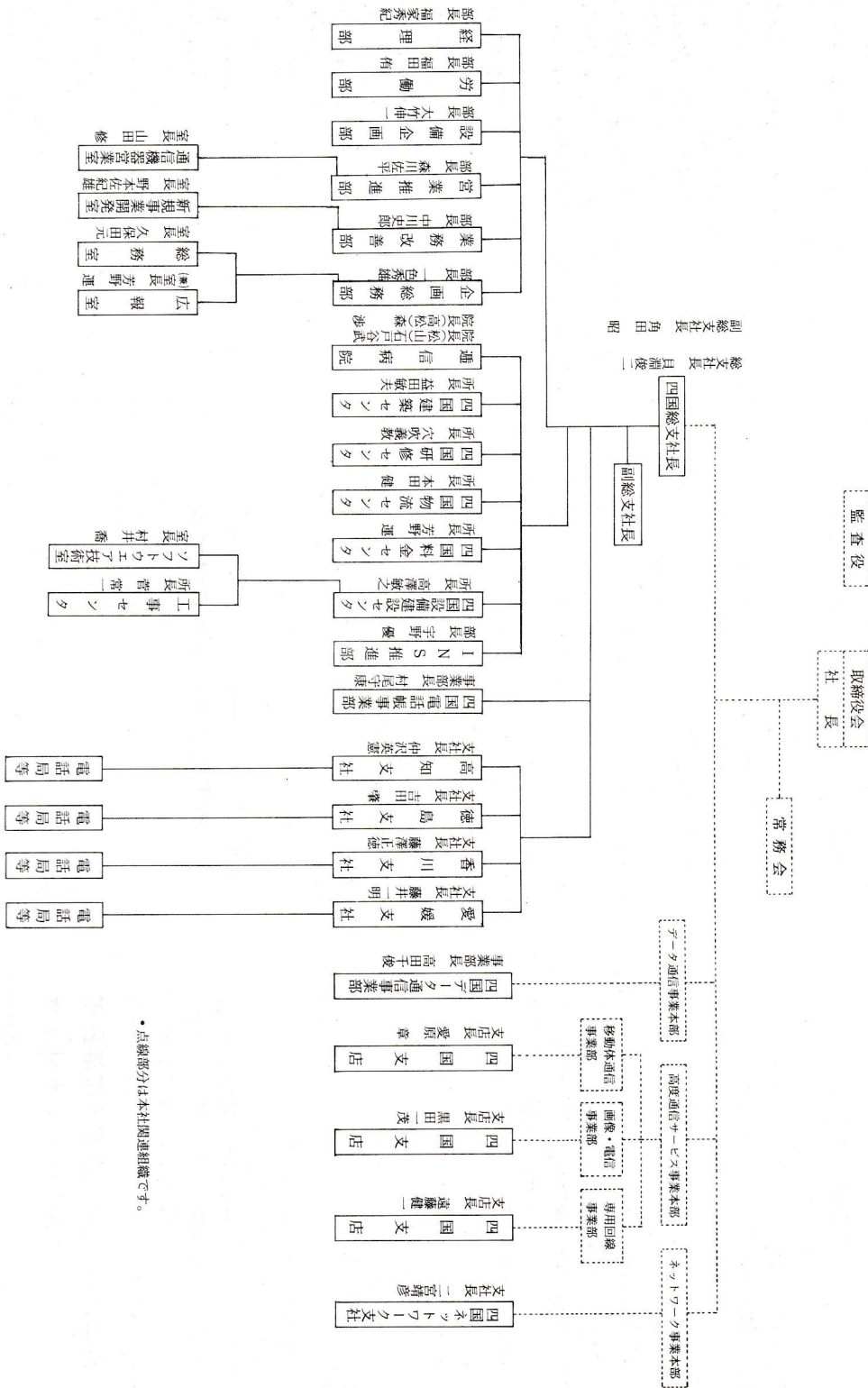
(注) 上記地域でも、お客さま識別用の装置がないため、一部サービス提供できない区域があります。

- 2、サービス開始予定時期
昭和六一年三月

- 3、料金

三分三〇円（全国均一料金）

N T T 四 国 総 支 社 組 織 図



・点線部分は本社関連組織です。

「宇和と宇和島」間光ファイバケーブル 工事完成…二月一〇日サービス開始

NTT四国総支社では、NTTが取り組んでいるINS（高度情報通信システム）の基盤となる「デジタル通信網」を構築するため、六〇年六月七日から「宇和と宇和島」間で光ファイバケーブル方式工事に着手していましたが、このほど完成し、二月一〇日からサービスを開始しました。

この「宇和と宇和島」間の光ファイバケーブルは総工費約二億円をかけ、宇和と宇和島間二〇・六kmに敷設したもので、容量量伝送方式（F—O—M方式・一〇心ケーブル）となっており、この方式は二心の光ファイバケーブルを一組（システム）として、一秒間に約一億個の信号（ビット）を送送できるものであり、電話に換算すると一システムで、一、四四〇回線の通信を同時に行うことができます。

また、五九年一月に完成している「松山と大洲」間の光ファイバケーブル、六〇年七月に完成している「八幡浜と宇和」間の光ファイバケーブル及び、現在本工事を終え本免許を受けるよう準備中の「大洲と八幡浜」間のデジタル無線伝送路（一—GHz）が完成すれば、「松山と宇和島」間がデジタル伝送路で結ばれます。

これにより「松山と高松」間、「高松と徳島」間の光ファイバケーブルと「松山と高知」間のデジタル無線伝送路を経由して四国管内の四県所在地（松山、高松、徳島、高知）に接続されるほか、「松山と広島」間、「松山と大分」間、「徳島と和歌山」間のデジ

タル無線伝送路（五L—D—1方式）を経由して、全国のデジタル通信網と接続することができ、これは、高速デジタル伝送、映像サービスなどの高度情報社会におけるデジタル系サービスの需要に対処するほか、電話回線にも使用します。

「四国INSプラザ」装いを一新

NTT四国総支社では、「四国INSプラザ」の一部展示模様替えを行い、一月九日に装いを一新しました。

これは、INS広報の推進・科技博のサテライト会場として六〇年三月一六日にオープンした「四国INSプラザ」が、科技博の閉幕とともにサテライト会場としての役割もひとまず終了したことに伴い、一部展示模様替えを行い、併せて各種新電話機等を展示し、INS広報の拠点・販売拠点として、より一層の充実を図るために改装したものです。

- (1) 科技博サテライト会場の展示機器として設置していたデジタル関連機器は、引き続き「ビジネスコーナー(II)」を新設し、システムの利用できるようにしました。
- (2) NTTの各種新電話機の展示コーナーを新設しました。
- (3) 科技博に使用していた鳴門大橋の定点カメラを標高一、〇〇〇mの高縄山に移設し、テレコン装置により瀬戸内海の風景を写しだします。
- (4) INS関連書籍コーナーを新設し、ご希望のお客様には貸出しもいたします。

愛媛電友会総会

愛媛電友会第二四回総会は、菊香り、さわやかな秋晴れに恵まれた十一月五日、約三七〇名が参集して盛大に行われた。

午前九時頃から、元氣な顔が列をなし、再会の喜びに満ちた語らいが、暖かい小春日のさし込む郵便貯金会館の大ロビーに広がる。

午前一〇時開会、会長あいさつにつづき、来賓祝辞（藤井NTT愛媛支社長、江川松山電話局長）、長寿者への祝金贈呈、新会員紹介、議事等々、すべてスムーズに進む。役員改選では、永年ご尽力くださった友沢副会長が勇退され、後任に六車美一氏が選出された。なお、一部会員から出された懇親会のあり方等々については、検討結果を次期総会に提案することとなった。

この後の懇親会は、ささやかながらも、杯を重ねるほどに、年に一度の祭典にふさわしい和やかな大きなざわめきが大会場を埋めたと、つきぬ名残を惜しみつつ、来年の再会を約して、午後二時散会した。（高市記）

扶養控除等申告書

年金を主たる収入としている方は、扶養控除対象者の有無、年齢にかかわらず、扶養控除等申告書（用紙送付）を、NTT四国総支社労働部厚生課共済係へ提出してください。提出期日は一月十日です。

扶養控除等申告書は、電算機に投入する関係で折りたたまないようにし、百二十円切手を貼付してください。

また、記入にあたっては、熟読のうえ、記

入漏れ、誤記入のないよう、ご注意をお願いいたします。
 申告書余白に、年金証書記号番号と自宅電話番号をお忘れなく記入してください。
 また、確定申告の期間は、二月十六日から三月十五日までです。該当する方は最寄りの税務署に申告をしてください。

共済会だより (三十三)

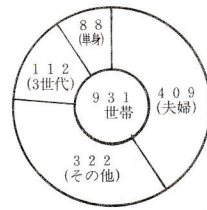
電気通信共済会四国支部
 福祉相談所

NTTOB、遺族の方の生活実態は……アンケート調査結果から……

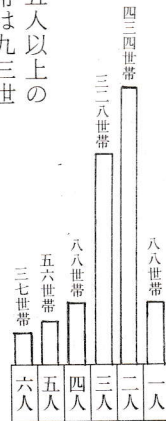
電気通信共済会では、高齢化社会への進行、年金、医療等公的福祉の動向、あるいは退職者の増加等の諸情勢の変化に適應した社会福祉事業の一層の充実を図るため、退職者ならびに遺族の方々の実態や意向把握を目的としたアンケート調査を毎年実施しております。
 六〇年度は、愛媛県下の対象者一、六八四名の方にアンケート調査を実施、現在結果を分析とりまとめ中であるが、中間的にまとめた世帯構成、世帯人員等は次のとおりです。

- 一、アンケート調査票の発送、回答状況
 発送数一、六八四通。回答九三一通(五五・三%)
- 二、世帯類型別の状況
 九三一世帯中、老人世帯(男七〇才以上、女六五才以上)一一六世帯(一二・五%)
 母子世帯七世帯(〇・八%)
 その他八〇八世帯(八六・七%)

三、世帯構成別状況
 夫婦世帯が全体の四三・九%を占め、核家族化傾向が顕著。

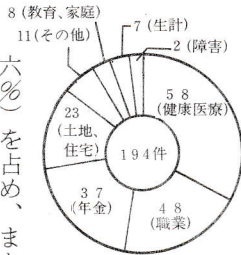


四、世帯人員別状況 (九三一世帯)



単身世帯は全体の九・五%で退職者が四人、遺族が四人となつています。
 その他とは、子供あるいは父母、兄弟と同居世帯です。

世帯は九三世帯で全体の一〇%に当り、これらの世帯は子供や孫に囲まれ、幸せな家族構成となっていることがうかがえます。
 五、事項別相談希望件数状況
 総件数一九四件は一人て複数項目に〇印を付したものを含みます
 一位の健康・医療問題(二九・九%)、二位の職業問題(二四・七%)
 合せて全体の(五四・六%)を占め、また年金改正の動きを反映してか年金問題が全体の(一九・一%)で第三位となっています。
 (おわりに)
 六一年度では、香川県、徳島県、高知県下の対象者のアンケート調査を計画しています。電気通信共済会ではこれら調査結果を有効に活用し、今後とも心のこもった社会福祉事業活動を推進していきたいものと念願しております。



年金情報

六十年年度共済年金額の改定

「共済年金額の改定に関する法律等の一部を改正する法律」が六十年六月七日、法律第四九号として公布され、五十九年度の国家公務員の給与の改善内容に準じて、六十年四月から年金額が引き上げられました。
 改定増額は次のとおりです。
 仮定俸給年額
 一、二七五、〇〇〇円未満のもの
 三・五%
 一、二七五、〇〇〇円以上五、二六、一三〇円未満のもの
 三・一%プラス五、一〇〇円
 五、二一六、一三〇円以上のもの
 一六六、八〇〇円

しかし、五十九年三月、三公社共済年金が国家公務員共済年金に統合された際に頭打ちになり、今回の増額改定があっても実際に年金額が増えない方が多いものと推測されます。年金額が実際に増えた方には、共済組合から通知があり、追給がなされました。

電信電話記念日の表彰

昭和六十年年度の電信電話記念日(NTT第一回)に、次の方々に感謝状が贈られました。
 おめでとございます。
 NTT四国総支社長表彰
 (長年にわたり電気通信事業発展に尽力)
 鶴本 豊勝殿 (松山)
 長谷川 茂殿 (松山)

新刊「電信電話と共に」表彰される

電友会四国連合会々報第四九号(六〇年一月)で、電友会四国連合会会長泉節太郎氏著「電信電話と共に」の新刊を紹介いたしました。この「電信電話と共に」の内容が、後進の指導育成と地域のサービス改善の模様を刻明に記述して、事業史的側面を備えた貴重な著作であるとして、その功を讃え、通信同窓会会長から第三十五回全国大会(六十年十月十二日)において表彰されました。

表彰状

泉節太郎殿

あなたが刊行された「電信電話と共に(上下巻)」と題する著書は、永年にわたって後進の指導育成および地域のサービスの改善に尽くされた活動振りを判明詳細に記述、事業史的側面を備えた貴重な著作と認められ、本会の表彰を高められた功績は、誠に第一、第四回中央全国大会に於て、これを表彰します。
昭和六十年十月十二日
財団法人通信同窓会
会長 藤川貞夫

社会福祉活動で表彰

昭和六十年十一月八日、第二十九回高松市社会福祉大会において、木野戸繁行氏が社会福祉団体の役員としての功績により、高松市社会福祉協議会会長から、また木野戸金雄氏が、共同募金運動に対する盡力により、香川県共同募金会高松支会会長からそれぞれ表彰されました。

二宮正巳氏に県スポーツ功労賞

愛媛県体育協会は、十二月六日、六十年年度県スポーツ功労賞受賞者を発表しました。この賞は長年にわたって県の体育スポーツの普及振興に貢献した人に贈られ、二宮氏は昭和二十七年県軟式庭球連盟理事に就任以来、県連、市連の要職にあつて、軟式庭球の普及と競技力向上に寄与したことが認められたものである。

OBサークル便り

六〇年度電電OB

軟式庭球秋季大会(愛媛)

秋晴れの好天氣に恵まれ、十一月二日(土)松山市堀之内市営コートにおいて恒例の電電OB軟式庭球秋季大会を開催した。今回は病氣その他の都合で出場できなかった方が多数あつたが、出場者は健康の有難さをかみしめながら熱戦を繰り広げた。試合結果は次のとおりで、試合終了のあと反省会をかねて懇親会を開き解散した。

- 優勝 福山 内藤組 二勝一敗
- 二位 木村 溝田組 二勝一敗
- 三位 山崎 溝田組 二勝一敗
- 四位 小松 田内組 全敗
- 一位(三位は得失点差により決定) (木村記)



訃報

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り致します。

氏名	死年月日	行年	所屬
松本康宏殿	60・6・22	六二	高知
尾崎常男	60・7・4	七九	松山
阿部富三	60・9・24	六六	新居浜
石原信雄	60・9・26	七五	多度津
熊野定義	60・9・26	六九	高松
楠瀬和子	60・9・30	五一	高知
佐藤武雄	60・10・8	六八	鴨島
勝川正男	60・10・15	七七	高松
星野亀市	60・11・11	七九	今治
山下義夫	60・11・13	六三	高知
清水昇	60・11・19	六四	今治
羽藤米市	60・11・22	八三	今治
深田幸男	60・12・11	七八	伊野

表紙のことば

双鶴

初日に夫婦の鶴を描きました。年をとるごとに「夫婦がそろっていつまでも健康であることが、一番幸である」と思っています。

随

筆



鷹 日 記

大 西 瓶 子 (高 知)

土佐の秋は鷹の渡りの季節である。私が初めて「鷹の渡り」を知ったのは今から五年前の秋で、野鳥の会の人達に案内されて鴻の森(標高二九八米)に登った時からである。毎年九月下旬から十月上旬にかけて数千羽の鷹が高知の上空を群れを組んで渡る。

鷹は日本で生れて秋遙か南方へ渡り、冬を過ごして再び翌年の五月頃、青鷹(もろがへり)となって日本へ戻って来る。これは帰巢本能でもあるらしい。今年は猛暑が続いたせいか、渡りが早いとの情報でまづ下見に登山することにした。

九月二十四日、相憎の曇り空で視界が悪く、それに時季が少し早かったせいで昼頃までに僅か差羽(さしば)二羽の渡りを見ただけで下山した。

九月三十日、Kさんの迎への車で十時頃、鴻の森の頂上に着くと、野鳥の会の人達等すでに十数人が来ていた。

休む間もなく、すぐ東の空から二羽、低く海の方へ飛翔したあと、続いて三羽、四羽と間をおいて渡ってくる。城址の真上を、街の上を、北の空を間断なく渡って来る鷹に、空を見上げてばかりで首が痛くなる程である。

一時頃の下山までに約百羽を数えた。

十月一日(晴)、NHKのラジオで二時のニュースのあと、全国鷹の渡りの中継放送を聞いて(伊良古岬、四国の佐田岬、鹿児島、沖繩を結んでの実況放送)菊の手入をすべく庭に出ると、向いの家の上を鷹らしい一羽が飛んだので、急いで双眼鏡を持出して隣の広場に出て眺めると、まさしく鷹である。

裏山の上を一羽また三羽と西北の空へ消えて行く姿が肉眼でもはっきり見られた。家の上に淡く昼の月がかかっていた。

十月二日(晴)、昨日、仁淀川の上空で、鷹の渡りを見たからと、朝早くKさんからの電話があり鏡川橋で待合せ四人で山に登った。この日は、快晴で雲一つなく眼下に高知城、遠く土佐湾が鷲尾山の上に碧くひかり、北には石鎚山系の山々が霞んでいた。

頂上の芝生に寝ころんで空を仰ぎながら渡りを見た。二時頃の下山までに五十羽位のうち八角鷹、隼が一羽のほかは差羽ばかりであった。

十月七日(晴)、台風二十号の余波で五日は大雨、六日は天候の関係で気流が乱れて鷹の渡りには適しないと予想して七日を選んだ。八時頃鴻の森の中腹の密柑園附近で下車すると、Nさんが降りて来て、もう百羽余り渡りましたと、さも満足げに、今から出勤しますと帰って行った。

それに励まされて尾根を東へ廻ると、突然眼の前に十二、三羽の群れが現われて驚ろいた。その群の行方を見送って森の道を頂上へ急いだ。

城址はこの日も大勢の人で賑わっていた。鷹は予想にたがわず、高く低く、南へ北へ、次から次と渡って来る。真上に来て海からの

上昇気流に乗り、鷹柱をつくりながら、大きく旋回し、高く高く高度を極め、西の空へ一直線に消えて行く、鷹の競演である。

その数四、五十羽。ところが昼頃になって突如として西南の海風が激しくなり、渡りははたと絶えてしまった。

あきらめて帰ろうとした時、誰かが「鷹だ」と叫ぶ声に立ちあがると、何と山の南側の蜜柑園の上に十数羽の渡りを見た。それが後から後から続いて三、四十羽が谷間を縫って西北の雪光山の方へ消えて行った。風をさけての飛翔であろう、まことにめづらしい現象である。

鴻の森が標高二九八米であるから鷹の高さは百米か百五十米であろう、姿や縞模様などはっきり見える。Mさんが、これがほんとの高見(鷹見)の見物だとい同を笑わせた。

この間僅か三十分余り、やがて約束の時間が来たので私達は山に心を残しながら下山した。

(注)野鳥の会の情報では十月九日が最高で二千羽の渡りを見たそうである)

連山の翳りをもたず鷹渡る
海山のひかりをあため鷹渡る
蒼天を乱し差羽の渡り組む
鷹渡る嶺に双翼をかがやかせ
渡り鷹見し昂ぶりに海碧し

十行雑感

一人一件運動

高 市 沖 見 (松山)

NTTも、電話機のニューデザイン化、新施策等々、精力的に実施しているが、激しい

競争下、困難、苦勞も相当多いもよう。

電電の禄を食んだ一人として、私も電話機の販売を一役買っているが、所詮は微力。

しかし、塵も積もればの譬え、全OBが一年一件応援したら…と、年頭に当り私の初夢を提言する、いわゆる「一人一件運動」を：親戚、友人、知人に機会あるごとに一声かける。もちろん、お宅の電話もお忘れなく。

表面と裏面

森 山 泰 巖（高松）

「郵便局が南部の方へ移転したらしいよ、ポストまで無くなっている」

「どしたんネ、南部には簡易郵便局があるんだから、こっちの郵便局まで持っている必要ないにネ」

「郵便貯金までして利用してあげていたのに、あいさつもせず行ってしまっただから、腹立つネ」

「うちは、貯金はしてなかったけど…」と近所の奥さん方のお話である。

早いもので今年も、あと十日で師走に突入する。この一年間、いいこともあったが、奥さん達のおしゃべりのように面白くないこともたしかにあった。私もおかげで元氣ではあったが、病気をしないわけではなかった。腹が立ったり笑ったりで、それが人生のリズムというものである。

ただ大切なことは、そんな平凡なリズムの中から、自分なりに少しでも人生にプラスするものを握み、人間としての向上を図ることができたかどうかだ。さてその点はどうなんだろうか。

正月まで「あと一か月しかない」と思うせっぱつまった心と、「まだ一か月もある」と

考えるゆとりの心とでは、同じ一か月でも、中味には随分違ったものを感じる。ものが見方考え方がいいかんによって、思いがけない人生の楽しさが発見できるのであれば、こんなやさしい投資はほかに無いように思える。国分寺郵便局は南へ去ったが、来年はわが街にもこの淋しさを補って余りあるいいことがきつと訪れてくるに違いない。

わが家のセキセイインコは、今さかんに「ピーコチャンノオトシ四ツデス」と自分の年をしゃべっているが、間もなく「オトシ五ツデス」と新しいことばとの挑戦が始まる。人間も小鳥も明日に向けて一歩一歩の前進が展開されていくのである。

若水を汲む

渡 部 貞 好（松山）

古くからの家のならわしで、新年は若水汲みからはじまる。若水は男が汲む。旧正月の寒気は厳しく山里はこの頃大抵雪であった。

父が囲炉裏の埋火を掻きたてて松明に火を付ける。松明は肥松を細く割り新糶を編んで探燈型に作ってあり、正月三ヶ日毎日新しいのを使う。注連で飾った手提水桶には木杓を添えてあり、兄が松明を父から受け、父は飾られた手提水桶を、私はお供えものを盛ったお盆を両手で捧げ戸口を出る。二十米程はなれて、四升樽の幾倍もの大水桶が据えてあって算で引いた谷水が滔滔と落ちていく。この大水桶に私が持った注連を掛け、お盆の重ね餅、干し柿、米などをお供えして水神様を拜し、父が一杓一杓水神様から若水をいただ

く。この若水で母がお雑煮を炊いた。夢のように薄れた遠い小さかった頃の若水汲みを懐かしく思う。

投稿規定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
- 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
- 三 随筆、随想 六〇〇字以内

原稿締切 二月二〇日

原稿の取扱についてはお任せねがいます。

編集後記

▽あけましておめでとうございます。

皆さま、ご家族お揃いで輝やかしい新春をおむかえなさったことと存じます。

▽六〇年度の共済年金改定増額は平均三・五％四月から実施されましたが、電電OBは国家公務員共済との統合による足踏みのため、手取りが増した方は少数のようです。

▽N T Tは民営化第二年度にはいり、いよいよ本領発揮の年です。ご発展を祈ります。

電友会四国連合会会報 第五三三号

昭和六一年一月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局

松山市一番町四丁目（二十七九〇）

N T T四国総支社内

電話（〇八九九）三六一二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社

ナイスプロポーション！「ハウディ」。



プッシュホン ハウディ シリーズ

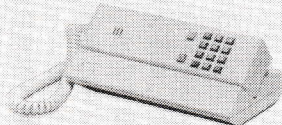
先進のエレクトロニクス技術を生かした。
多彩な機能とタイプ
カラーバリエーションもいろいろの
おしゃれなプッシュホン「ハウディシリーズ」



ミニタイプ



スリムタイプ



ピラミッドタイプ



ウォールタイプ



ワイドタイプ



ハウディ
グラッツィア

NTT



未来を考える人間企業

日本電信電話株式会社

● おしゃれでスマートなプレゼント
ハウディギフト プッシュホンハウディと引き換えできるカードです。